

# FEM-14

## レーシングカーらしい迫力ある加速感が味わえる Formula Entertainment Machine



レーシングカーとしての速さと、アマチュアサンデーレーサーにもその性能を引き出せる扱いやすさの両立するため、高い限界性能や優れた過渡特性・マン・マシン系の最適化を行い、商品価値の高い車両作りを目指した。

EV化に伴うレイアウトの変更など初年度ならではの壁を乗り越えつつも、サイドウイングの搭載や、VCMによるTCS制御・ブレーキ回生等、積極的な開発を行い、ICV中堅校と競い合えるレベルの車両に仕上がりました。

大会ではEVならではの効率の良さ・優れた加速性能を発揮し、前年に引き続き静的審査でも好成績を収め、EV参戦1年目にしてEVクラス優勝・総合4位という結果を得ることができました。



### 第15回大会成績

- 総合 4位
- 静的審査
  - ・デザイン審査 2位 (130/150pts)
  - ・コスト審査 16位 (47.46/100pts)
  - ・プレゼン審査 1位 (75/75pts)
- 動的審査
  - ・アクセラレーション 3位 (76.38/100pts)
  - ・スキッドパッド 28位 (38.36/75pts)
  - ・オートクロス 15位 (99.26/125pts)
  - ・エンデュランス 16位 (202.53/275pt)
  - ・効率(燃費) 2位 (97.51/100pts)

- 特別賞
  - ・ジャンプアップ賞 1位 (14回大会合同EVチームから)
  - ・CAE特別賞 3位
  - ・国土交通大臣賞 (安全・環境技術, 新技術の評価)
  - ・袋井市長賞 (静的審査総合1位)
  - ・日本自動車工業会会長賞 (全審査完走・完遂)

